

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
387	福祉資金貸付償還事業		01	一般会計	
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	03	民生費	
			03	同和行政費	
			01	同和行政総務費	
担当部課名	人権政策部 同和課		102	福祉資金貸付事業	
作成者氏名	前川 清	連絡先	22-9633	細々目	01
					福祉資金貸付事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	旧上野市における福祉資金の貸付者	貸付金償還金の奨励を行い、行政が果たすべき公平性の確保を図ることができ、地域改善事業に対する住民の理解が得られる。					
本年度事業内容	福祉資金貸付金償還者に対し、償還指導を行なう。滞納者には督促状を発送する。また、臨戸訪問により、償還相談を行い償還を促すとともに、返済意思の確認を行った。						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	上野市福祉資金貸付け条例

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1	1	1
	人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
②支出内訳(千円)	事業費(B)	12,655	9,363	6,288
	委託料	144	144	144
	その他	12,511	9,219	6,144
	合計(A+B)	19,855	16,563	13,488
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担	7,311	6,800	6,000
一般財源	12,544	9,763	7,488	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
福祉資金貸付金償還件数	件	255	220	200			
督促・催告件数	件	330(延べ)	350	370			
償還相談数(臨戸訪問)	件	68(延べ)	120	120			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
総貸付件数における償還完了件数 (福祉資金貸付金償還完了件数/福祉資金総貸付件数)	総貸付件数を分母とし、償還完了件数を分子とする償還完了比率を指標にしました	%	78.41 目標 ()	81.37	83.07
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

昨今の社会情勢は、景気の回復傾向にあるものの、企業の倒産、リストラ等、雇用をとりまく情勢は厳しい情勢である。元来、同和地区住民は、不安定な就労条況の中にあることから、貸付金償還金の滞納金額が増加傾向にある。しかし、こうした状況を放置できず、債権回収にあたる必要があり、適当な手段を模索し対応にあたる。

評価	必要性	3	今後、十分に滞納者の現状を把握するとともに、債権回収に向け担当者のスキルアップに努めたい。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		
				C